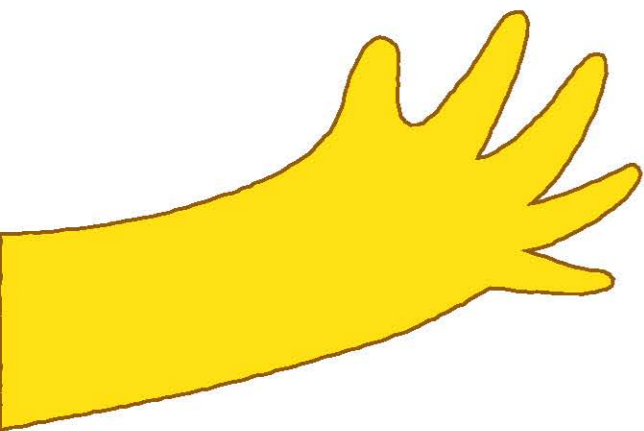
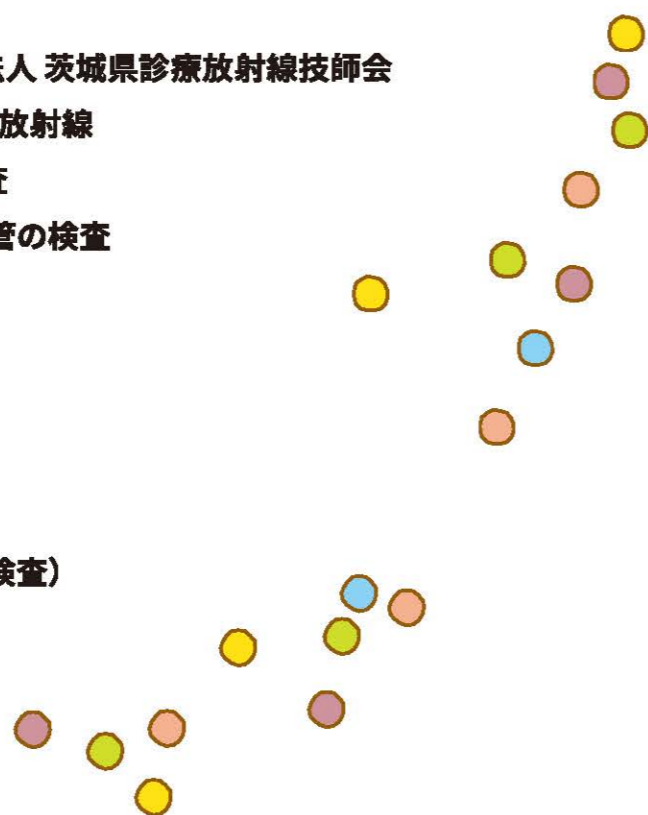
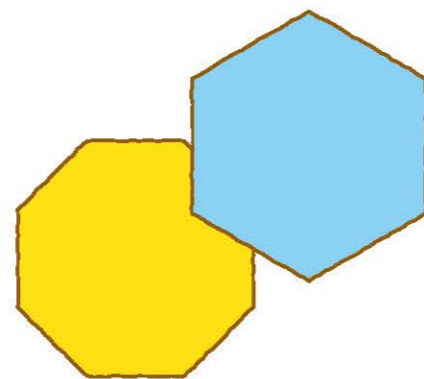


放射線検査のことがわかる本

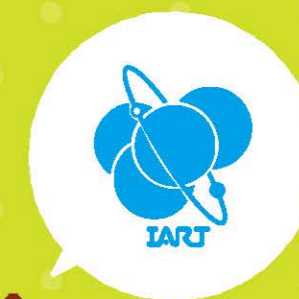
検査の「はてな？」が「なるほど！」に変わるお手伝い

- 2 診療放射線技師と公益社団法人 茨城県診療放射線技師会
- 3 病院や診療所で使われている放射線
- 5 胸やおなか、骨などのX線検査
- 7 胃や腸のバリウムを使う消化管の検査
- 9 血管造影検査
- 11 CT検査
- 13 MRI検査
- 15 超音波検査(エコー検査)
- 17 放射線治療
- 19 核医学検査(RI検査・PET検査)



放射線検査の専門家です！

診療放射線技師と 公益社団法人 茨城県診療放射線技師会



みなさんは、健康診断をしたとき、病院にかかられた時にX線検査を受けられたことがあるかと思います。あるいは、病院で医師からなににの検査を受けてくださいといわれ、どのような検査かわからず不安な気持ちになったりしたことはありませんか。

そこで私たち診療放射線技師は、みなさんが病院や診療所で安心して放射線の検査を受けていただけるよう、それぞれの検査について、わかりやすく解説、ご案内する本を作成しました。また、この本をごらんになることで放射線についてのご理解も得られることと思います。

放射線検査を受けられるとき、わからないこと、不安がありましたら、遠慮せず私たち診療放射線技師におたずねください。

診療放射線技師は、文部科学省あるいは厚生労働省が認定した教育機関(大学、短期大学、等)で学び、国家試験に合格した者で、医療において放射線を利用するエキスパートです。放射線を発生する診断装置で検査をしたり、放射線を用いた治療を行っています。放射性薬剤を使った核医学検査も行います。また、放射線を使わない超音波検査(エコー)やMRI検査も診療放射線技師の仕事です。放射線を使った検査を行っているため、いかに少ない量でよりよい診断画像を作成するか、検査自体が終わってもそのデータからわかりやすい説得力のある画像を作成するか、放射線治療では、いかに周囲の正常組織への影響を

抑え正確に腫瘍に放射線をあてるか日夜研究し業務に励んでおります。さらに医師が検査画像をみて診断を行う読影の補助業務も行っています。

茨城県には診療放射線技師の有資格者は870人(平成24年度県統計)いますが、主に病院・健診施設に勤めています。そのほか大学や研究施設、医療機器メーカーなどで働いています。そのうち685人が職能団体である公益社団法人 茨城県診療放射線技師会の会員です。

医療における技術の進歩はめざましく、私たちもそれを自分たちで的確に取り入れていかなくてはならないため、茨城県診療放射線技師会には10の研究会があり、研修会を頻繁に開催し、会員のスキルアップを図っています。患者さんの被ばくを低減するための委員会、放射線を安全に管理するための委員会で研究を行い、医療被ばく低減、放射線管理に努めています。また、JCO事故や福島第一原発事故においては、その専門性を生かし医療施設内だけでなく、住民や環境の放射線測定等の仕事のお手伝いも行っております。さらに、みなさんに医療における放射線、放射線検査へのご理解をいただくよう定期的に市民公開講座、放射線展を開催しております。

厚生労働省がめざすチーム医療の一員として、患者さんのため、一般の皆さんの健康のために知識と技術を提供し、社会に貢献する責任と役割を担って奮闘しております。

Radiological Technologist

『診療放射線技師』ってどんな職業？

- 1 医療で放射線を扱うエキスパート
- 2 チーム医療の一員
- 3 国家試験に合格した専門職
- 4 茨城県に870名の有資格者